

【施設状況】

グループ名称	少年科学センター							
指定管理者名	株式会社オーエンス				法人番号	5010001039404		
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副				
構成施設	3323	少年科学センター						
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	第1展示室、第2展示室、冒険広場、夢の劇場、実験工作室、休憩室、学習室、幼児の広場、事務室、会議室							
施設設置目的	自然科学及び近代科学技術に関する資料を収集・展示し、子どもたちの科学に対する知識の芽を養い、いつも新鮮なおどろきと楽しい雰囲気によって、潜在的興味を喚起できる施設として、科学に対する知識の啓発及び向上を図る。							
基本方針等	科学実験・科学工作教室の開催等、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供するとともに、青少年の科学に対する潜在的な興味を喚起することを目指す。							
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターの入館の受付等に関する業務</li> <li>・センターの施設及び設備の維持管理に関する業務</li> <li>・センターの効用を増加させる自主事業に関する業務</li> </ul>							

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	株式会社オーエンス			指定回数	4 回
指定期間	平成29年4月1日	～	令和4年3月31日	5年	管理運営開始日 平成18年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。				評価  3
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)				

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	評価
	幼児	人	31,968	32,527	27,772	11,803	42%	
小・中学生	人	27,797	27,194	25,344	9,492	37%		
高校生	人	934	965	997	505	51%		
一般	人	48,420	48,996	44,960	18,682	42%		
計	人	109,119	109,682	99,073	40,482	41%		
						#DIV/0!		
						#DIV/0!		
(特記事項) 【令和2年度】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月16日～5月31日までの間休館とした。 ・6月より、施設の一部の利用を制限・事業縮小をしたうえで再開をした。								

  

事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案	追加事業、未実施事業及び未実施の理由	3
	市指定事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>センターの入館の受付等に関する業務</li> <li>センターの施設及び設備の維持管理に関する業務</li> </ul>	
自主事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>にんじゃくんの手作りおもちゃ(日替わり工作)</li> <li>もの作り はじめの一步</li> <li>わくわくカガクあそび</li> <li>自動運転で動く車のしくみプログラミング教室</li> <li>映画上映</li> <li>特別イベント</li> <li>ミニミュージアムショップの設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の事業を中止・縮小した。</li> <li>①ゆめの劇場における立体映画上映(立体メガネの着用により、新型コロナウイルス感染症の感染を拡大する恐れがあるため中止)</li> <li>②団体向け教室(密集を避けるため、平日利用団体を対象に、希望があった場合のみ実施)</li> <li>③出前教室(原則中止)</li> <li>④職場体験学習(受け入れ中止)</li> <li>⑤近隣地区清掃活動への参加</li> </ul>	
サービス維持・向上の取組み(広報等)		<ul style="list-style-type: none"> <li>新規展示物を導入した際には、ホームページを活用して、情報発信した。</li> <li>ブログを運用し、より最新の情報を発信できるようにした。</li> <li>自主事業の情報は、広報ながの、週刊長野、子育て情報誌等を活用し、お知らせを随時掲載した。</li> </ul>		

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容	評価
	利用者要望把握	<p>(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート</p> <p>(2) 調査、会議等の内容 ・館内アンケートボックス、教室参加者向けのアンケート、特別企画の参加者向けアンケート、ホームページのお問い合わせフォームにおいて実施 ・利用者満足度調査を実施し、集計分析結果を報告書として作成 調査対象:来場者無作為に配布 回答者:228人 調査方法:施設での回収 調査期間:令和2年10月10日(土)～10月17日(土) 8日間</p> <p>(3) 調査、会議等の結果 ・属性 利用頻度 はじめて18.2%、10回未満42.1%、10回以上31.3%(以下、無回答除く) 居住地 長野市内在住68.7%、長野市外在住:23.2%、長野県外:8.1%</p> <p>・総合的な評価は令和元年度同様、満足度94%を得られ、「満足52%、やや満足42%」に対し、令和2年度は「満足46%、やや満足48%」という内訳であった。幼児に人気のボールプールや立体映画など、一部の施設利用・事業を中止・制限していたが、提供できるサービスのなかで満足いただけており、来館者の理解が得られているものと考えられる。実際に、中止している展示物・遊具にあることについては、91%の回答者が「しかたがない」と回答している。 ・また、今回は感染症対策について、77%の回答者は「不安がなかった」と回答しており、記入された不安箇所についてはその後の感染症対策に反映した。</p>	
利用者からの要望・苦情等	<p>(1) 良好とする評価 ・いつも楽しい工作やショー、かがくあそびをありがとうございます。老朽化や指定管理といろいろ大変かと思いますが、感謝しています。 ・ありがとうございます。楽しかったです。1時間に1回除菌していますなど、わかりやすかったと思います。 ・古い装置でもいつもちゃんと使えて感心しています。子どもはとても楽しんでます。 ・10年以上ぶりに来館しました。楽しかったです。</p> <p>(2) 苦情・改善等の要望事項 ・故障展示物の復旧、新規展示物の導入、展示装置の更新 等(7件) ・中止している遊具利用・事業の再開(5件) ほかに要望・不満7件</p> <p>《対応措置》 ・展示物が故障した場合は、職員・業者により迅速に修理、または職員により代替展示物を内製した。 ・新規展示物を導入した際にはホームページにて発信し、周知を図った。</p>		

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和2年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和2年度決算		令和元年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	11,530,000	利用料金	4,676,320	歳入	使用料	36,248	使用料	70,415
	指定管理料	32,120,000	指定管理料	32,943,977		雑(納付金)		雑(納付金)	
	委託料		委託料			行政財産目的外使用料	35,212	行政財産目的外使用料	34,889
	販売収入等		販売収入等			貸付料	585,778	貸付料	585,778
	その他収入		その他収入	784		その他		その他	
	計	43,650,000	計	37,621,081		計	657,238	計	691,082
支出	人件費	25,052,000	人件費	22,809,429	歳出	指定管理料	32,943,977	指定管理料	31,651,000
	設備管理費	6,214,000	設備管理費	5,389,053		委託料		委託料	1,296,350
	備品購入費	470,000	備品購入費	25,631		需用費		需用費	
	修繕費	700,000	修繕費	1,148,678		役務費		役務費	
	光熱水費	6,900,000	光熱水費	6,061,451		使用料・賃借料	1,863,528	使用料・賃借料	1,863,528
	事業費	2,000,000	事業費	822,166		修繕費		修繕費	
	事務経費	636,000	事務経費	472,982		工事請負費		工事請負費	1,380,000
	本社経費	1,200,000	本社経費	1,200,000		備品購入費		備品購入費	
	その他	478,000	その他	130,803		その他		その他	
	計	43,650,000	計	38,060,193		計	34,807,505	計	36,190,878
自主事業	収入	1,849,600	収入	1,007,916					
	支出	1,230,900	支出	568,804					
	自主事業損益	618,700	自主事業損益	439,112					
損益		618,700		0	差引		-34,150,267		-35,499,796
人件費比率【人件費(賃金等)／令和2年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									59.9%
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

4

5 管理運営全般 ※すべて  で、「3」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長1名(常勤)、館長補佐1名(常勤)、指導スタッフ5名(常勤3名、非常勤2名)、受付事務スタッフ3名(常勤1名、非常勤2名)、施設管理スタッフ1名(非常勤) 計11名(地元雇用:11名)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		3
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と連携した自主事業プログラムの開催</li> <li>・地元雇用の推進</li> <li>・地元事業者からの物品購入</li> <li>・アウトリーチ事業の推進</li> <li>・職場体験(地域活動学習)・インターンの受入</li> <li>・学生ボランティアの受入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供プログラミング～自動運転で動く車の仕組み(7・8・9・11・1・3月の6回開催)</li> <li>・JAXA主任研究開発員澤田氏による「はやぶさ2の大冒険 講演会」の開催(1月)</li> <li>・長野工業高校の生徒が企画製作した燻製器・交通安全キーホルダーの販売</li> <li>・感染拡大防止のため、以下の事業を中止・縮小した。                         <ul style="list-style-type: none"> <li>①アウトリーチ事業(原則中止)</li> <li>②職場体験(受け入れ中止)</li> <li>③近隣地区清掃活動への参加</li> </ul> </li> </ul>	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>----- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	4	8	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	3	6	
<b>合計得点</b>			

評価理由	<p>「3 利用者評価」について、新型コロナウイルス感染症の影響で中止のイベントが相次ぐ中、利用者アンケートからは昨年度同様の満足度を得ている。また、感染症対策についても利用やアンケートを実施しており、77%の利用者が「不安がなかった」と回答しており、利用者からの評価は高評価であると言えるため、評価を4とした。</p> <p>「4 事業収支」について、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用料金や自主事業の収入が大幅に落ち込んでいる。他方、人件費や設備管理費、備品購入費等の支出項目から経費削減を実施し、年度計画額と比較して約4,000千円の支出削減に努めた。以上の理由より、評価を4とした。</p>
------	---

取組み・改善案等(施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)

次年度の目標・取組み等(施設所管課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リニューアル休館前の最終年度として、市民の思い出に残るような施設運営を行う。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の予防を徹底し、感染状況を見ながら休止しているイベントや展示物の再開についても検討していく。</li> </ul>
--------------------	--

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・引き続き再入館許可制度を導入し、城山公園の一体的な利用促進を図った。
- ・来館者層が低年齢化している状況を踏まえ、冒険広場や幼児の広場の備品整備に取り組んだ。
- ・密集状態をつくる事業(サイエンスショー・団体向け事業等)は原則中止し、要望に応じて実施するものとしたため、アウトリーチ事業(出前サイエンスショー)は1回、団体向け教室は3回の実施となった。
- ・コロナ禍において、自宅で工作ができるようにオリジナル工作キット13種を製作し、販売した。
- ・積極的な広報活動(チラシ配布、ポスター掲示、ホームページ・ブログ更新)により、施設の認知度向上に努めた。12月からは公式ツイッターを開始し、リアルタイムな情報提供を実施した。
- ・またネット犯罪対策としてSSL(Secure Sockets Layer:データを暗号化して送受信する仕組み)を装備し、安全に安心して閲覧できる仕組みとしている。
- ・利用者満足度調査の実施によるニーズの把握と反映に努めた。
- ・休館日の削減(第3金曜日、GW・夏・春期休業期間中の月曜日、1月2日～3日の年始開館)を実施した。
- ・地域出身の講師の招聘、話題性の高い講演会、教室など多分野にわたり開催した。
- ・関係団体、企業と連携し、イベントを開催した。
- ・スタンプカードの運用により、リピーターが増加している。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・適正な人員配置による人件費の縮減や、業務の相互補完体制を強化した。
- ・エネルギー管理の徹底に努めた。
- ・チラシ、広報物等の内製化による広告費の削減に努めた。
- ・施設管理スタッフの日常修繕実施により、小規模修繕費を削減した。
- ・展示物の製作や修理、設備修繕を内製化し、再委託を極力抑えた。

③ その他

- ・「ながの子育て支援カード事業」「多子世帯応援プレミアムパスポート」に協賛し、ミュージアムショップの割引(5%)を実施した。
- ・地域活動学習は中止、サマーチャレンジボランティア(40名)、インターンシップ(2名)の受入れは実施した。
- ・長野市家庭・地域学びの課主催の「親子わくわくフェスタinイーゴ」に協力し、サイエンスショーを実施した。
- ・長野県が実施するエコプログラムに参加し、環境に配慮しつつ認知度やサービスの向上を図った。
- ・職員が定期的に、展示室内の密集状態の巡視や、展示物の消毒作業を行い、感染症対策として衛生管理に努めた。
- ・職員への賞与支給により、職員満足度の向上を図るとともに、意欲の向上と人材確保につなげた。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・施設設備・展示装置の修繕・入れ替えに関する利用者からの要望が多い。
- ・中学生以上の来館者に対する自主事業参加の促進が課題である。
- ・指導員のさらなる知識の深化と企画・演示力の向上(外部研修の受講)
- ・消費税率改正に伴う料金設定の見直し(教室参加費、ミュージアムショップでの物販)
- ・市と協議の上、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた予防対策の実施や事業再開の判断、また来館者数や利用料金収入の減少に対して、支出の調整(抑制)を行う必要がある。
- 本年度においては、日常清掃と利用者満足度調査の内製化による外注費の削減、事業の材料調達においては在庫の活用により経費縮減を実現、同時にサービス品質の維持に努めた。

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり  
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者  
自己総合評価

C

① 評価理由

利用者より一番要望の多い展示物のリニューアルについて、業者に依頼した場合は多額の予算が必要なことから、内製化により令和2年度は3点を導入することが出来た。

- ① はやぶさ2模型 ②ヴェロキラプトル模型 ③森の宝石展

② 次年度以降の取組み

- 令和3年度での閉館を控えているため、閉館イベントの企画運営、備品整理、新規施設への移行に向けた情報提供等、長野市に協力し、コロナ禍でも市民が最後まで楽しめるよう事業を継続、指定管理者としても16年間の集大成の年度とする。